

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

CTS 夏期手当

昨年より減額!

物価高騰に逆行するありえない回答

CTS 2024年度 夏期手当回答

■社員	基本給の2・45カ月
■契約社員	
・6カ月未満	なし
・6カ月～1年未満	4万円+一時金7万円
・1年以上～3年未満	5万円+一時金7万円
・3年以上～5年未満	7万円+一時金7万円
・5年以上	12万円+一時金7万円
■パート社員（月100時間以上）	
・6カ月未満	なし
・6カ月～1年未満	4万円+一時金6万5000円
・1年以上～3年未満	5万円+一時金6万5000円
・3年以上～5年未満	7万円+一時金6万5000円
・5年以上～	12万円+一時金6万5000円

【支払日】 6月27日以降、準備でき次第

CTSは6月17日、今年度の夏季手当について左表の通り回答しました。

社員は「基本給の2・45カ月」と昨年夏より0・05カ月の減額。契約・パート社員は、手当は昨年と同額、その上で一時金の部分で昨年夏より各5千円の減額となっています。

会社再編の矛盾を現場にしわ寄せ

J R東日本は全部門で増益、グループ含めた連結決算でも3期連続の増収に転じています。にもかかわらず「今後も厳しい経営状況

が続く」「コストダウン施策の実施」と御託を並べて夏期手当を減額しているのです。

今年4月からコインロッカー事業を「(株) J R東日本スマートロジスティック」(J R東の孫会社)に一方的に移管したことで、数億円規模の減収は確実です。そのしわ寄せを現場社員に狙っていることは確実です。

コロナ禍でJ Rの業績がダウンしたら減額、J Rの業績が回復しても「今後のために」と減額! 歴史的な物価高騰が続く中で、現場からは悲鳴にも近い切実な要求が上がっていることは会社も分かっているはずですよ。

赤字でも生きていける賃金を

動労千葉は6月12日、団体交渉で①夏期手当3・8カ月分、②契約・パート社員でも同じ基準での支給、③物価高騰への緊急対策として一律10万円の支払いを求めました。

正規・非正規の格差是正、住宅手当の支給基準の改善、ガソリン代(通勤手当)の支給基準の見直しを求めましたが、会社はゼロ回答を強行したのです。

組合は「たとえCTSが赤字決算でも現場社員が生活していけるだけの賃金を出すべき」と厳しく追及しました。